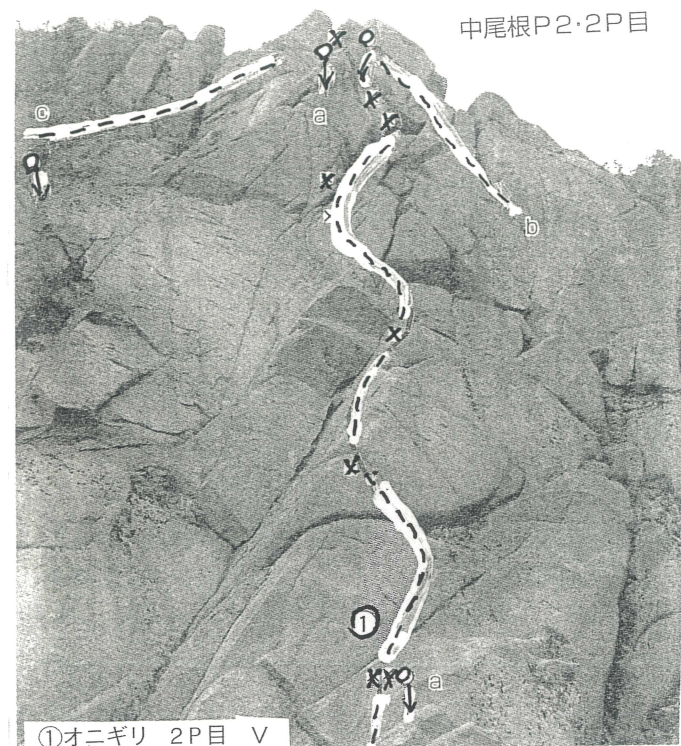


下降は懸垂

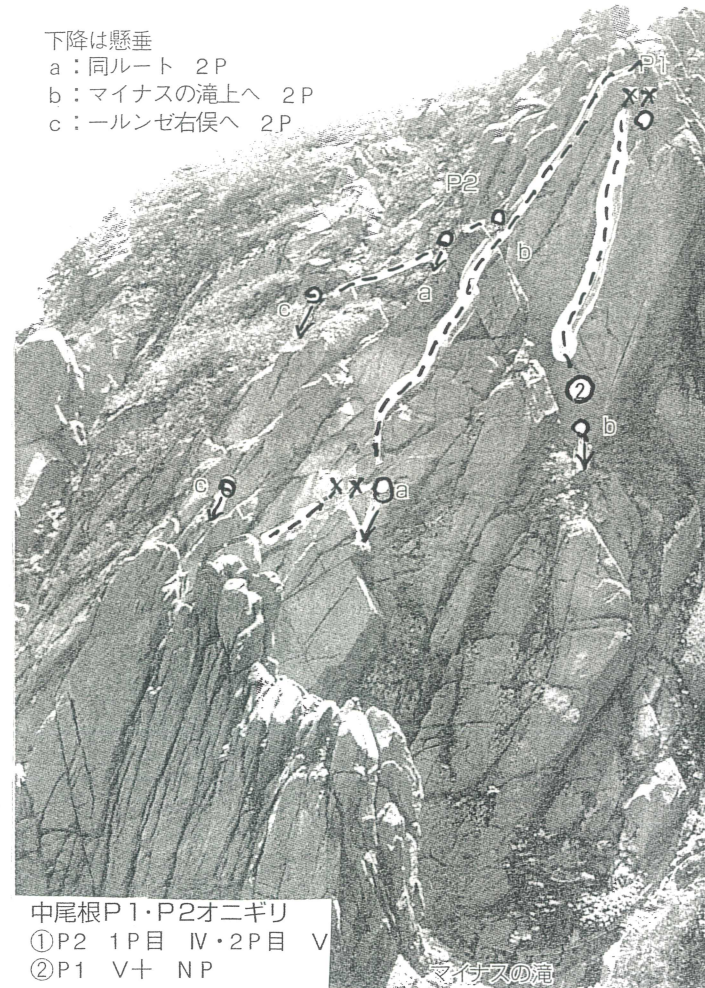
- a: 同ルート 2P (50mなら一回)
- b: マイナスの滝上へ 2P (20m・40m)
- c: ールンゼ右俣へ 2P (25m・45m)



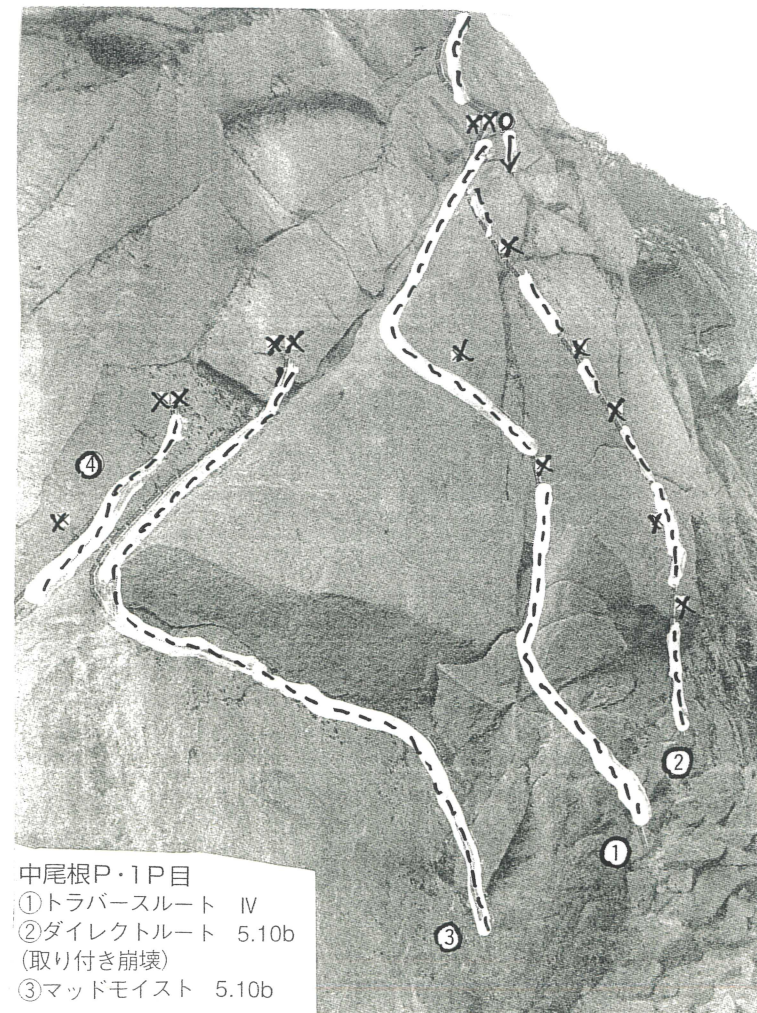
①オニギリ 2P目 V

下降は懸垂

- a: 同ルート 2P
- b: マイナスの滝上へ 2P
- c: ールンゼ右俣へ 2P



中尾根P1・P2オニギリ
①P2 1P目 IV・2P目 V
②P1 V+ NP

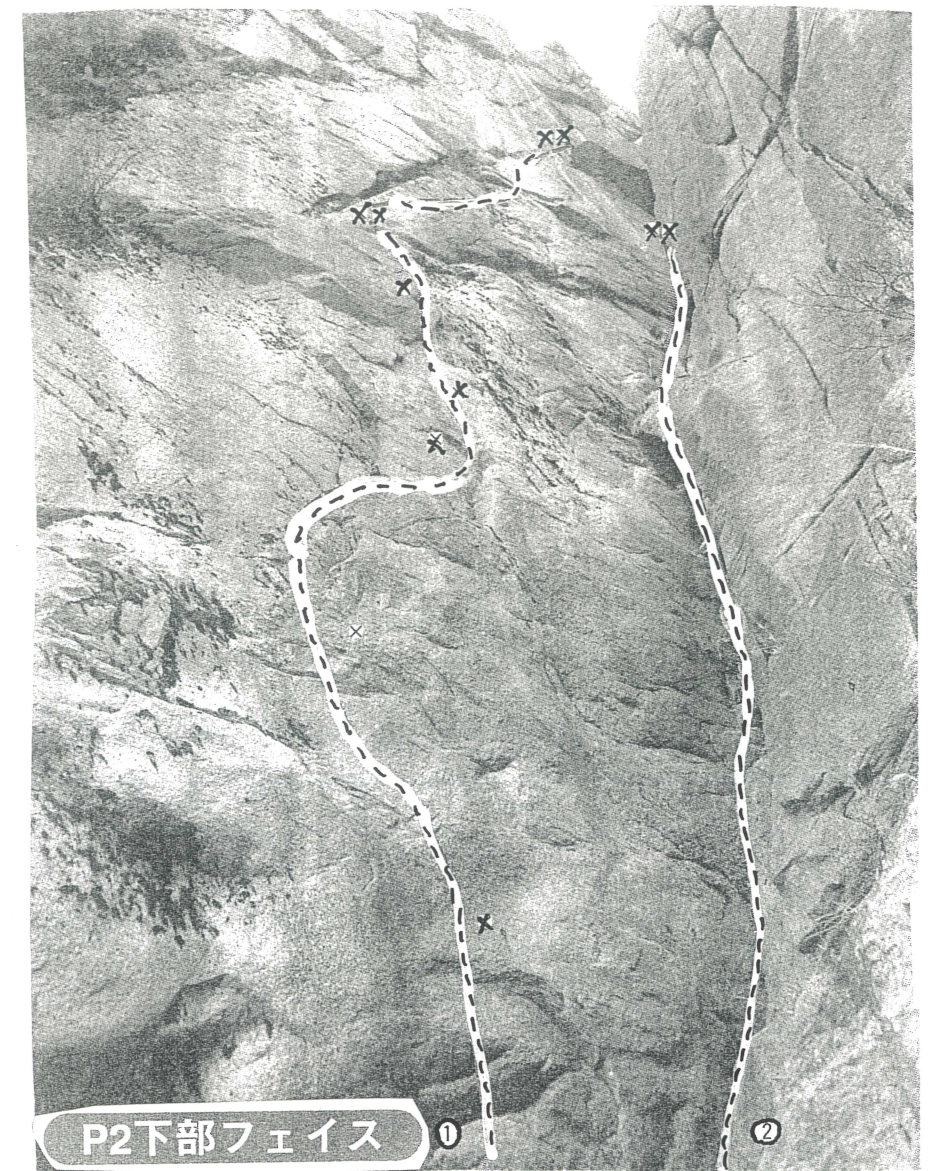


中尾根P・1P目
①トラバースルート IV
②ダイレクトルート 5.10b
(取り付き崩壊)
③マッドモイスト 5.10b

フェイスクライミングの一の壁に対して、中尾根はクラッククライミングが主体になりP4、P3ではザックがあると苦勞する。P4、P3のプロテクションはハーケンが主なのでナチュラル・プロテクションがあった方が安心である。P1は登るパーティは少ないがおもしろいのでぜひ登りたい。P4からP1まで継続すれば5ピッチの本チャンルートとして楽しめる。

取り付きへは、1ルンゼ右俣を登って踏み後を右へまわりこみ、ガリーを上がるとP4の取り付き

に着く。一の壁から15分。下降は懸垂で、P1からはマイナスの滝へ2ピッチ。P2からは同ルートをツルムのコルへ2ピッチ。あるいは、P2からバットレス方向へ20分行くと下降支点があり2ピッチで1ルンゼ右俣へ降りられる。(後続がいるときはこちらの方が安全)



P2下部フェイス

こもの道1P目 5.10a
昼間部の細かいホールドが厳しい。

こもの道2P目 5.10a
バンドを右にトラバースしてから直上しもう一度右上する。

ールンゼ右俣 IV
ツルムのコルへ直接登れるルート。浮石に注意。

P2の下部フェイスからダイレクトにオニギリへつなげられる。

中尾根P2下部フェイス
①こもの道 1P目 5.10b
②ールンゼ右俣 IV

中尾根 P 1 P 2